

盛岡市内景気動向調査の概要について（2026年4～6月期）

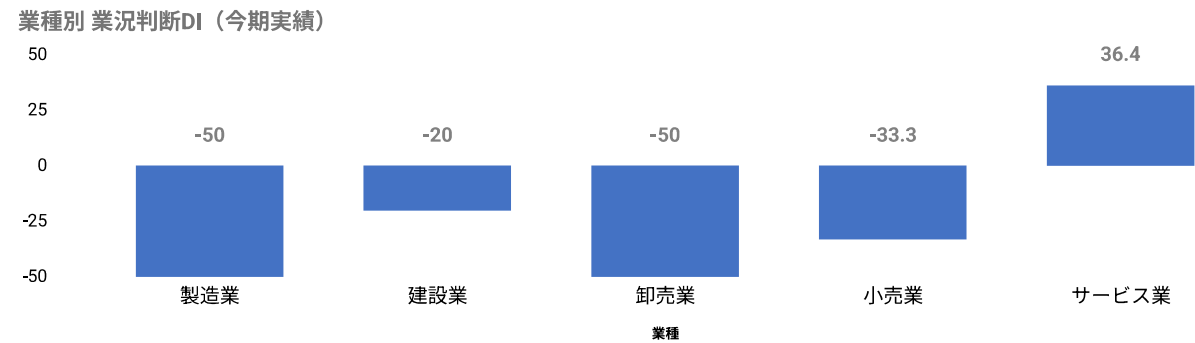
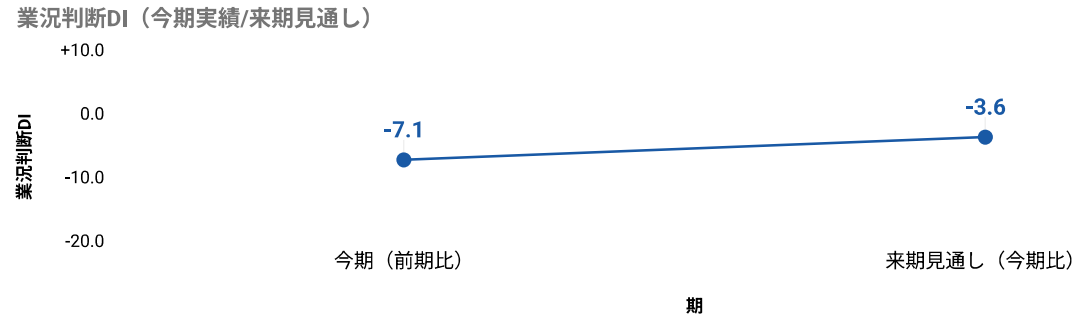
盛岡商工会議所

【概況】原材料・仕入価格の高騰や人手不足の影響が継続し、先行きへの警戒感と足踏み感がみられる。
・【業況DI動向】 今期の業況判断DIは▲7.1と悪化超過が継続。来期見通しは▲3.6（+3.5pt）とやや改善の兆しがみられる。
・【業種別動向】 サービス業（+36.4）が好調を維持する一方、製造業（▲50.0）・卸売業（▲50.0）・小売業（▲33.3）・建設業（▲20.0）と業種間格差が顕著。
・【経営課題】 「原材料・仕入単価の上昇（14社）」「資材・光熱費等経費の増加（13社）」「人件費の増加（9社）」などコスト高騰が収益を圧迫。
・【企業の声】 中東情勢の緊迫化による資材高騰・入手難や、価格転嫁の難航により「売上が伸びても利益が出ない」との苦境の声が多数。

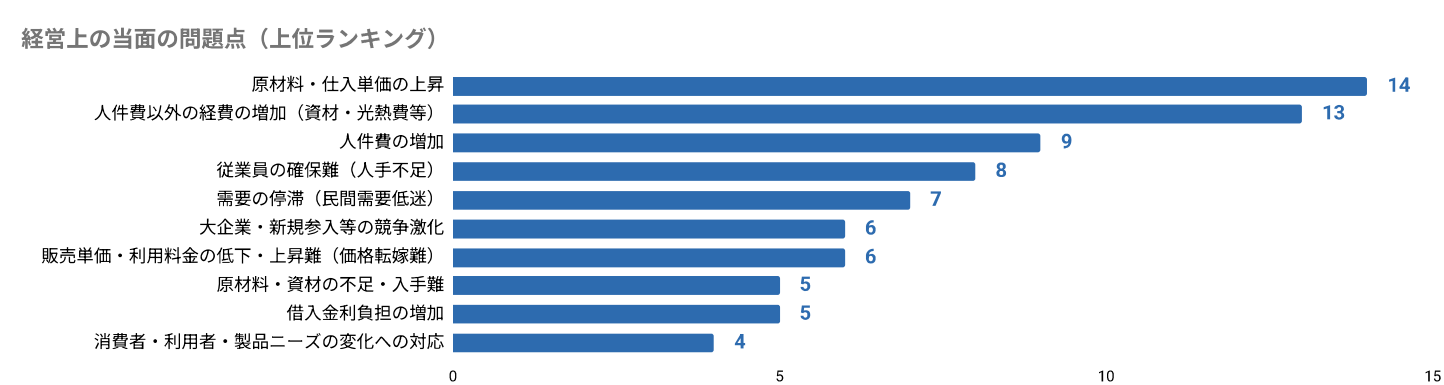
【調査実施要領】			
調査対象企業数	有効回答企業数（入力済）	未回答企業数	回収率
43社	29社	14社	67.4%

【業況判断DI（今期実績・来期見通し）】					
区分	有効回答数	好転	不変	悪化	業況判断DI
今期（前相比）	28社	17.9%	57.1%	25.0%	-7.1
来期見通し（今期比）	28社	21.4%	53.6%	25.0%	-3.6
変化幅（来期－今期）	-	3.6%	-3.6%	0.0%	+3.6

※業況判断DI＝「好転」割合（％）－「悪化」割合（％）。プラスは好転超過、マイナスは悪化超過を示す。



【経営上の当面の問題点（上位ランキング）】					
順位	経営上の問題点	1位回答	2位回答	3位回答	合計回答数
1	原材料・仕入単価の上昇	7	4	3	14
2	人件費以外の経費の増加（資材・光熱費等）	2	7	4	13
3	人件費の増加	3	3	3	9
4	従業員の確保難（人手不足）	5	0	3	8
5	需要の停滞（民間需要低迷）	0	5	2	7
6	大企業・新規参入等の競争激化	3	3	0	6
7	販売単価・利用料金の低下・上昇難（価格転嫁難）	0	2	4	6
8	原材料・資材の不足・入手難	3	1	1	5
9	借入金利負担の増加	1	0	4	5
10	消費者・利用者・製品ニーズの変化への対応	2	1	1	4



【企業の景況に関する主な声・定性コメント（業種別抜粋）】	
業種	景況の背景・直面する経営課題に関するコメント
製造業	中東情勢の影響か、昨期と比較して引き合いが少ない。材料単価も月単位で上がっており、短スパンの見積しか出せない。
建設業	材料が入手困難、中東情勢が先行き不透明で投資や会社運営に非常に不安を感じている。
卸売業	中東情勢の影響が大きすぎて今後不安しかない。
小売業	資材の値上がり、配達経費高だが、販売価格に転嫁できないでいる。
小売業	ナフサの不足により、販売用ポリ袋や関連資材が高騰し経費が増加中。一部購入できないものも出ている。
サービス業	売上が増加しても材料等仕入れや他経費も増えており厳しい。利益を出すことが難しい。